

(様式1)

## 自己評価票

作成日 平成 23 年 6 月 30 日

### 【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	0890200058		
法人名	有限会社 アコード		
事業所名	グループホーム ユートピア	ユニット名	2階ユニット
所在地	〒316-0034 日立市東成沢町3-23-13		
自己評価作成日	平成 23 年 6 月 30 日	評価結果 市町村受理日	平成 年 月 日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報	茨城県福祉サービス振興会のホームページ「介護サービス情報検索」から情報が得られます。
------	--

### 【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	社会福祉法人茨城県社会福祉協議会		
所在地	〒310-8586 水戸市千波町1918番地 茨城県総合福祉会館内		
訪問調査日	平成 年 月 日	評価確定日	平成 年 月 日

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

<p>人（職員）と人（ご入居者様・ご家族様）と関わる仕事であるので、相互の信頼関係を築くことに力を入れている。普段からチームワークの重要性を職員に理解させる努力をしている。 家族会を設置し、ご家族の希望を取り入れる仕組みを行っている。 地域密着サービスであるので、ボランティアや、地域の方と様々なイベント等を通じて、ご入居様と交流し、または、認知症の方々の様子を理解していただくように努めている。</p>
--

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

--

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
I 理念に基づく運営			
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	「ご入居者様が家庭的な雰囲気の中で今ある力を発揮しながら地域の一員として尊重され健康で生き生きと暮らしていただけるホームを目指します」という理念を毎朝、申し送り後に復唱し、職員間で意識付けをおこないながら、実践に努めている。
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	行事やイベントがある時には、チラシを配り、地域交流に向けて(地域の方が来やすいよう)の働き掛けをしたり、昨年度より、会瀬学区による学童の見守りへの参加を実施し、子供たちとの交流が持てるようになった。
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	行事やイベントの度にチラシを配り、地域の方々にも参加して頂きながら、認知症の方と話す機会を作り、理解して頂けるよう取り組んでいる。運営推進会議時に、ご近所の方から認知症に関する質問を頂き、ホームでの暮らしの現状を伝えながら、認知症を理解して頂けるよう努めている。
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	二ヶ月毎に会議や行事ごとを交えながら実施している。意見出し合い今後の取り組みへ活かせるよう、上司や管理者間で会議をしたり、職員間と話し合いをしたり、サービスの向上に努めている。
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	空き情報などを知らせ合えるような連絡会をつくりたい、というホームの思いはあるが、ホームをしっかりと抱けるような活動はできていない。運営推進会議を活用して、ホームの活動や現状を報告し、意見をいただいたり、協力を働きかけたりしながら、市役所や民生委員の方との関係を徐々に築けるよう取り組んでいる。
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束の意味が職員間で理解しあえるよう、話し合いの場(ミーティング等)を設けている。職員の勤務体制に応じて、玄関の施錠を行っている。入居者の希望を尊重し、行きたいときに散歩へいったり、買い物をしたり、自由にベランダやコミュニティーホールへ行ったり、フロア内を自由に使えるようにしている。
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	高齢者虐待防止に関して過去に勉強会をし、虐待になるような言葉づかいに注意をする取り組んでいる。禁止用語を決め、その言葉を聞いたときは、職員同士で注意しあえるよう努めている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用  管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	選挙の期日前投票へ職員と一緒にいき、関係機関への協力を得ている。また、サービス事業者懇談会への参加をし、他事業者との意見交換や情報交換をしている。
9		○契約に関する説明と納得  契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約や契約解除の際は、契約（解除）する前に、ご家族へ十分に説明をし納得して頂いてから、手続きを進めている。加算や料金改定時は、家族会を活用してご家族に十分な説明ができるよう、努めている。
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映  利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	玄関前のカウンターへ意見箱を設置している。家族会の中で、意見や要望を聞き、迅速に対応や改善ができるよう、上司・管理者間ですぐにミーティングを実施し運営に反映できるよう努めている。また、来訪時にご家族からの要望や意見を聞けるよう、声をかけ・雰囲気作りができるよう努めている。
11	7	○運営に関する職員意見の反映  代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	6月より、毎日ミーティングが実施できるよう取り組み、日々意見を出し合い、利用者の状況や職員の意見を直ぐに話し合える・聞ける場を設け、また、話し合いや意見がホームの質の向上に活かせるよう取り組んでいる。
12		○就業環境の整備  代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員に当番や、役割を与え、責任感とやりがいを与えたりしているが、キャリアパス制度は事業所の規模からして難しいと考えているが、それに相当するものを整備することを考えている。
13		○職員を育てる取組み  代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員全員が認知症実践者研修の受講を目指しているが受講のチャンスは少ない。自社で独自の研修を実施している。
14		○同業者との交流を通じた向上  代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	日立市内の事業者連絡会や、介護相談員連絡会に出席し、他事業所のいい情報などを参考にして、サービスの質の向上に努めている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
15		○初期に築く本人との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居までの間に、ご家族と入居者本人とで見学に来て頂き、話をして情報を得る。サービス開始時には担当職員を決め、細かなアセスメントをシートを活用して職員全員で不安や困っている事、要望を2～3週間観察し記入や記録を取っている。記録やシートを元に、カンファレンスを行い、本人の安心や望む暮らし等を話し合い、本人の気持ちや声に耳を傾け暮らしを共にする人間関係作りに努めている。
16		○初期に築く家族等との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居前の見学時に、ご家族の気持ち（不安・ストレスなど）に耳を傾け、話をしっかり聞くようにしている。また、ご家族の要望を介護計画に反映している。
17		○初期対応の見極めと支援  サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	初期の対応として、アセスメント票を活用し、一ヵ月ぐらいは観察していく。その後に、カンファレンス等で、本人や家族に必要な支援は何か、見極めて対応できるよう努めている。
18		○本人と共に過ごし支え合う関係  職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	入居者さんと職員は家族であり、日々一緒に過ごしていくなかで、喜び・笑い・悲しみを共にし、支え合って暮らせるよう努めている。また、家事やお手伝いへ参加したり、入居者さんが安心して過せるよう互いに支え合えるような関係作りに取り組んでいる。
19		○本人と共に支え合う家族との関係  職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	入居者さんにご家族との橋渡しができるよう、ご家族が来訪された時には、安心できるような伝え方で入居者さんの過ごしている様子を話したり、入居者さんにご家族との絆を大切に思い、来訪時は一緒に過ごして頂いている。ご家族が帰る際にも声をかけ、ともに入居者さんを支えていけるような関係が築けるよう取り組んでいる。
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援  本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	室内へは少しでも馴染みのある物（ダンス・布団・写真など）を使用して頂いたり、友人が会いに来たり、他施設に入所している姉妹の所へ会いに行く入居者さんもいます。外出時は、住み慣れた場所を車で通り、入居者さんから昔話が聞けるように努めている。
21		○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	入居者さんの性格や、個人個人の関係を観察し、情報共有し合って理解に努め、お手伝いへの参加へは、互いに譲り合って参加して頂くようにしている。また、入居者さん同士の話へは職員も一緒に混ざって快適な生活・穏やかな生活が送れるよう、入居者さん同士の関係が深まるよう努めている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
22		○関係を断ち切らない取組み  サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約が終了しても、必要に応じて他事業所へ情報を提供したり、相談や支援に努めている。
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
23	9	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	入居者の思いや意向を聞き、職員同士で情報を共有しながら、把握ができるよう努めている。 また、ミーティングを活用してカンファレンスを行い、介護計画にも本人の意向を取り入れている。
24		○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	見学や訪問時の情報・家族からの情報を基に、本人が望む暮らしは何か、入居時の観察シートや記録を参考に経過の把握に努めている。
25		○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人一人の一日の様子を把握するため、24時間シートや本人ができること、できないことのシートなどを活用し、暮らしの流れに沿って本人の残存能力を把握できるように取り組んでいる。身体状態の観察を常に行い、変化に気付いた際は記録をしたり、申し送りの際に、情報共有をしている。
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング  本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	一ヵ月後とのモニタリング、他職員を交えて行う三ヵ月後のモニタリングやカンファレンス時の意見を反映し、現状に即した介護計画を作成できるよう努めている。
27		○個別の記録と実践への反映  日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別の記録を書く際は、介護計画の目標の番号に沿った内容を記入したり、健康状態に関する記録へは、赤字で書いたり、ペンで下線を引いたり職員が見やすい書き方の工夫を常に考え、職員間で情報が共有できるよう取り組んでいる。
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化  本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	入居者さんができることや、したい事、家族がしてあげたいと願う事を、少しでもかなえられるよう、ボランティアの行事を取り入れたり、状況に応じたニーズへは臨機応変に対応できるよう努めている。

自己評価	外部評価	項 目	自 己 評 価
			実 施 状 況
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	買い物をしたいときにできる対応を考え、買い物の訴えがあれば、地域住民のように一緒にショッピングを楽しみ、地域防災訓練へ参加したときは、地域の人たちの力を借りられるよう取り組んでいる。
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	6月までは、ホームドクターとして月二回往診へ来ていただいていた。7月より担当医が変わり適切な医療がうられるよう取り組みの改善をしている。
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	介護職員も、医療チームの一員として、日常の中でとらえた入居者さん一人ひとりの情報や健康状態への気づきを看護師と共有できるよう、医療支援につなげた情報の連携への取り組みが始まった。医療面への相談を随時行えるよう取り組みながら、適切な看護が行えるよう、相談やアドバイスを頂いている。
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入居者の急変や入院時は、看護師や上司へ報告。入院時は様子をみにき、看護師から情報を収集したり、家族から入院の様子を聞き、再度看護師や上司へ報告し、退院時の対応について話し合いを実施している。
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	ホーム内で出来る介護力を、事業所・担当医・看護師・管理者間で重度化や終末期・ターミナルケアについての方針を話し合い、全職員と共有したうえで、ご家族に十分に説明し、方針を共有していける取り組みをしていきます。
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変時に備えた対応を予測し、手順マニュアルを作成しているが、入居者さんの身体状況に応じたマニュアルの改善を看護師と共に協働していきながら、応急手当や急変時の対応方法を定期的に訓練し、実践に努めていきます。
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	今回の災害時には、今までの避難訓練の実施により、避難誘導の方法が生かされて行われていた。夜間を想定した訓練は一人で動きを実施。訓練を終え、動きへの気づきや意見が幾つかあがり、今年の訓練では生かされた行動計画を作成するよう努める。今回の災害による対策も話し合い、備蓄品の見直しや準備に取り組んだ。ご近所の方との協力体制が築けるよう、運営推進会議で議題として災害時の話し合いも行っている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	入居者さんの人格を尊重した言葉かけや接し方ができるよう、職員同士が意識し合って対応に努めている。プライバシーを損なわないよう、不適切な言葉や対応が見受けられた際には、職員同士で注意しあえるよう取り組んでいる。
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	本人の自己決定の元で、お手伝いへ参加して頂いたり、希望が言えるような働きかけ・言葉かけ・話の傾聴をし、希望が叶えられるような支援へは、ご家族へ説明し理解したうえで、協力をして頂くこともある。
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入居者の生活リズムを把握して、個人のペースを大切にして、個人が望むペースに合わせた関わり方や支援をしている。
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	二か月に一度、散髪を実施している。女性の入居者さんと一緒に、化粧品を買いに行き、毎朝顔のお手入れをしておしゃれを楽しめる支援にも取り組んでいる。入浴日は、自分で着たい洋服を選び準備して頂いている。
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	メニューの中に、一人ひとりの好みをリクエストとして取入れたり、イベント事は入居者さんが食べなれたメニューを作成している。準備時には野菜の皮むきを手伝って頂いたり、食後の食器拭き・洗いも自主的に参加して頂いている。
41		○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	摂取量・水分量・体重等、入居者さんの健康状態が把握しやすいような記録用紙を活用できるよう看護師より作成して頂き、取り組み始めた。食事のバランスは、管理栄養士にメニューを見て頂き、特に指摘はなかった。入居者さん食事の様子を観察し、調理の工夫や食事のタイミングを工夫している。制限のある入居者さんへは、統一した支援ができるよう、介護計画を元に取り組んでいる。
42		○口腔内の清潔保持  口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、口腔ケアを実施している。口腔ケアを拒む入居者さんへは、対応の工夫をし清潔保持や誤嚥性肺炎の予防に努めている。入居者さん一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた一部介助を行っている。義消毒の確認が取れるよう、義歯チェック表を活用している。

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
43	16	○排泄の自立支援  排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄チェック表を元に排泄パターンを把握し、定時の声掛けや誘導をしてトイレでの排泄の自立に向けて支援している。また、リハビリパンツの使用や汚染による意欲・自信の喪失を与えないような声掛けの工夫を行っている。排泄の自立に向け、職員間で話し合い、統一した支援が行えるよう介護計画へ取り入れている。
44		○便秘の予防と対応  便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	毎日のラジオ体操やメニューへ繊維物・海藻類を組み込んだり、一日一回乳製品を摂取している。また一日の水分摂取量を把握しながら、季節や気温に応じて水分摂取を考えている。数ヶ月前から、お口の体操を10時・15時のお茶の時間に行い、咀嚼力低下の予防に取り組んでいる。
45	17	○入浴を楽しむことができる支援  一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	その日の体調や希望に応じた入浴の支援を行っている。入浴ができない・したくないという方へは清拭で対応している。皮膚や全身の観察できるように、週に二回から週に三回の入浴へ来月より変更していく。
46		○安眠や休息の支援  一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日中の活動をするような関わりや、昼夜逆転の予防、温度の調節をしながら、安眠や休息になるよう努めている。睡眠状況を申し送り不眠時の入居者への配慮、見守りへの取り組みをしている。
47		○服薬支援  一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬に関して、マニュアルを作成し誤薬や飲み忘れの予防に努めている。誤薬や飲み忘れが何度かあり、職員間でミーティングをしマニュアルの再確認・実施の徹底を働きかける。入居者が服用している薬についてすぐに確認ができるよう、説明書を管理し、各担当職員は薬の用法や用量・副作用について理解できるよう取り組んでいる。
48		○役割、楽しみごとの支援  張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	生活の中で一人ひとりができること・体力や体調・自分に合った役割を持ち、入居者さんの意思を尊重してお手伝いに参加して頂いている。参加後は必ず労いの声をかける。入居者さんができるお手伝いへの楽しみ、嗜好を把握して参加の声かけをするよう努めている。
49	18	○日常的な外出支援  一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	入居者さんのその日の希望を聞き、体調・気温・天気に応じて、散歩やドライブへ行ける機会を作っている。行事として、外食を月に一回行っていた。ご家族による外出の協力も頂いている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>お小遣いを預かり、入居者さんの欲しい物・買いたいものの要望があった際は、職員と一緒に買い物を行けるよう支援している。</p> <p>今後は各自がお財布（低金額）を持って、地域の行事に参加した際に、お金が自由に使えるような支援を考えている。</p>
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	<p>本人の希望を尊重し、電話をしたり、遠方のご家族から来た手紙を読んで、嬉しそうな表情を見せる入居者さんもある。お正月の年賀状は、毎年ご家族へ出せるような支援を行っている。電話のやり取りが困難な入居者さんが連絡する際は、ご家族へ前もってご理解を頂き、連絡時が取れるよう支援している。</p>
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>季節感を採り入れるため、その時期の花や植物を飾ったり、作った作品を飾ったり、居心地のいい空間が持てるよう工夫をしている。</p> <p>ベランダでは、植物や野菜をつくって、室内から見えるような位置に置いている。</p> <p>共有空間は、常に清潔保持に努め、消毒の徹底をしている。</p>
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>テレビの前にソファを二つ置き、一人ひとりが座りやすい場所を見つけ、自分の居場所を見つけ、思い思いに気持ちが落ち着ける場所になっている。</p> <p>時には、お互いに席を譲り合ったり、仲間同士で座り会話を楽しんで過ごされている。</p>
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>生活に必要なスペースで、快適な室温で過ごせるよう環境調節をしながら、入居者さんが使い慣れた家具類を使用したり、手紙や写真を飾って、居心地良い居室になるよう、ご家族にも協力を頂きながら工夫をしている。</p>
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>建物内部は動きやすいようバリアフリーとなっており、身体機能の状態に合わせ、手すりを多く取り付け、共同スペースへの環境整備に努めている。</p> <p>居室やトイレが分からない入居者さんへは、ドアへわかりやすい名前をはり、自立した生活ができるよう工夫をしている。</p>

V アウトカム項目		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者の <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいの <input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいの <input type="radio"/> 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	<input type="radio"/> 1, 毎日ある <input type="radio"/> 2, 数日に1回程度ある <input type="radio"/> 3, たまにある <input type="radio"/> 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目：28)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての家族と <input type="radio"/> 2, 家族の2/3くらいと <input type="radio"/> 3, 家族の1/3くらいと <input type="radio"/> 4, ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/> 1, ほぼ毎日のように <input type="radio"/> 2, 数日に1回程度ある <input type="radio"/> 3, たまに <input type="radio"/> 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	<input type="radio"/> 1, 大いに増えている <input type="radio"/> 2, 少しずつ増えている <input type="radio"/> 3, あまり増えていない <input type="radio"/> 4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働けている。 (参考項目：11, 12)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> 2, 職員の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 職員の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> 2, 家族等の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 家族等の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない